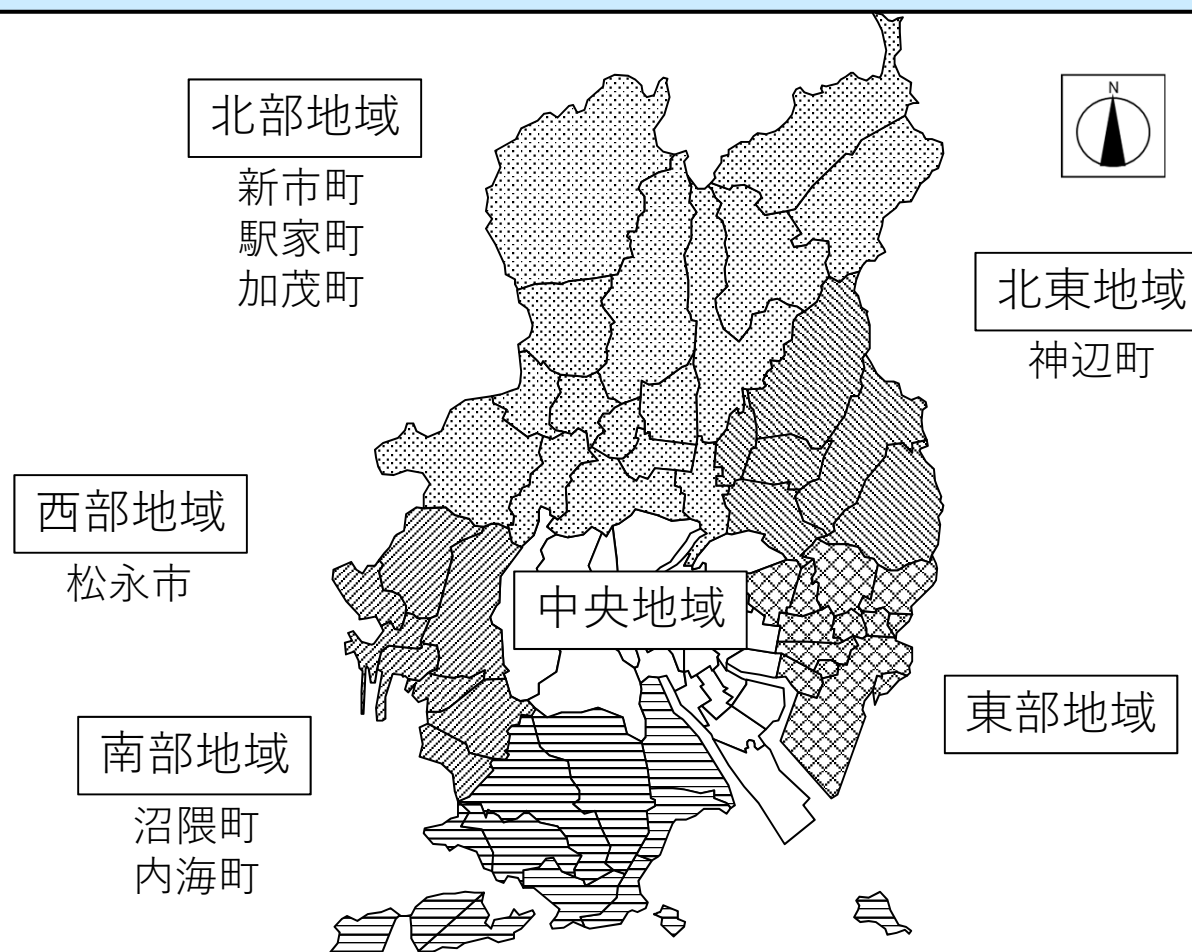


福山市は合併を重ねることで市域を拡大してきており、**地理的条件や日常生活圏などからなる地域ごとに市街地が形成**されています。

それぞれの地域ごとに特徴を生かしながら魅力を高め、中央地域と各地域を道路・公共交通網で連携することで、**市内のどの地域にいても住みやすく、自由に移動でき、市域の一体的な発展**をめざした都市づくりを進めます。



将来の都市構造（案） 地域の特性を生かした各地域の将来像

北部地域

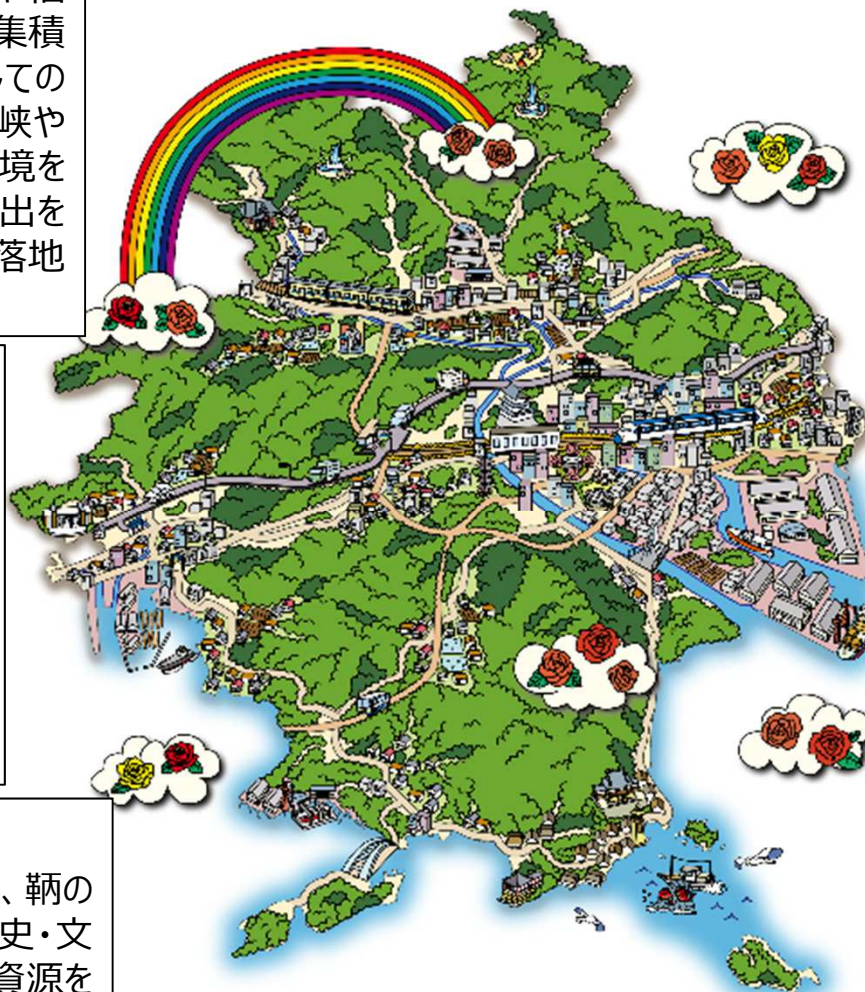
繊維産業などの地場産業や福山北産業団地などへの産業集積を生かし、ものづくりのまちとしての魅力を高めるとともに、山野峡や蛇円山など恵まれた自然環境を守り、良好な居住環境の創出を目指し、既存の市街地や集落地を支えるまちづくり

西部地域

学園地域と港湾機能、交通拠点機能を生かした産業拠点が融合し、幹線道路や松永駅の周辺で学生や外国人など様々な市民が居住するとともに、尾道市東部と一体的な発展をめざすまちづくり

南部地域

瀬戸内の豊かな自然環境、鞆の浦や仙酔島、内海などの歴史・文化やレジャー施設等の観光資源を生かした観光交流機能の更なる強化を目指し、交流人口の増加を図り、山間部や島しょ部の既存集落地を支えるまちづくり



北東地域

堂々川などの豊かな自然と神辺本陣などの歴史や文化の魅力を高めつつ、神辺駅周辺の新たな土地利用や交通結節機能の強化を図り、地域の更なる人口増加を目指すとともに、岡山県井原地域との交通機能を強化して、道上（フジグラン周辺）・湯野と一体的な発展をめざすまちづくり

東部地域

JFEスチール(株)のベッタタウンとして同時期に居住が始まった地域であり高齢化が進んでいくため、子育て世代から高齢世代まで、多世代の居住を目指し、幕山、大谷台などの大規模住宅団地の既存ストックを活かしたまちづくり

中央地域

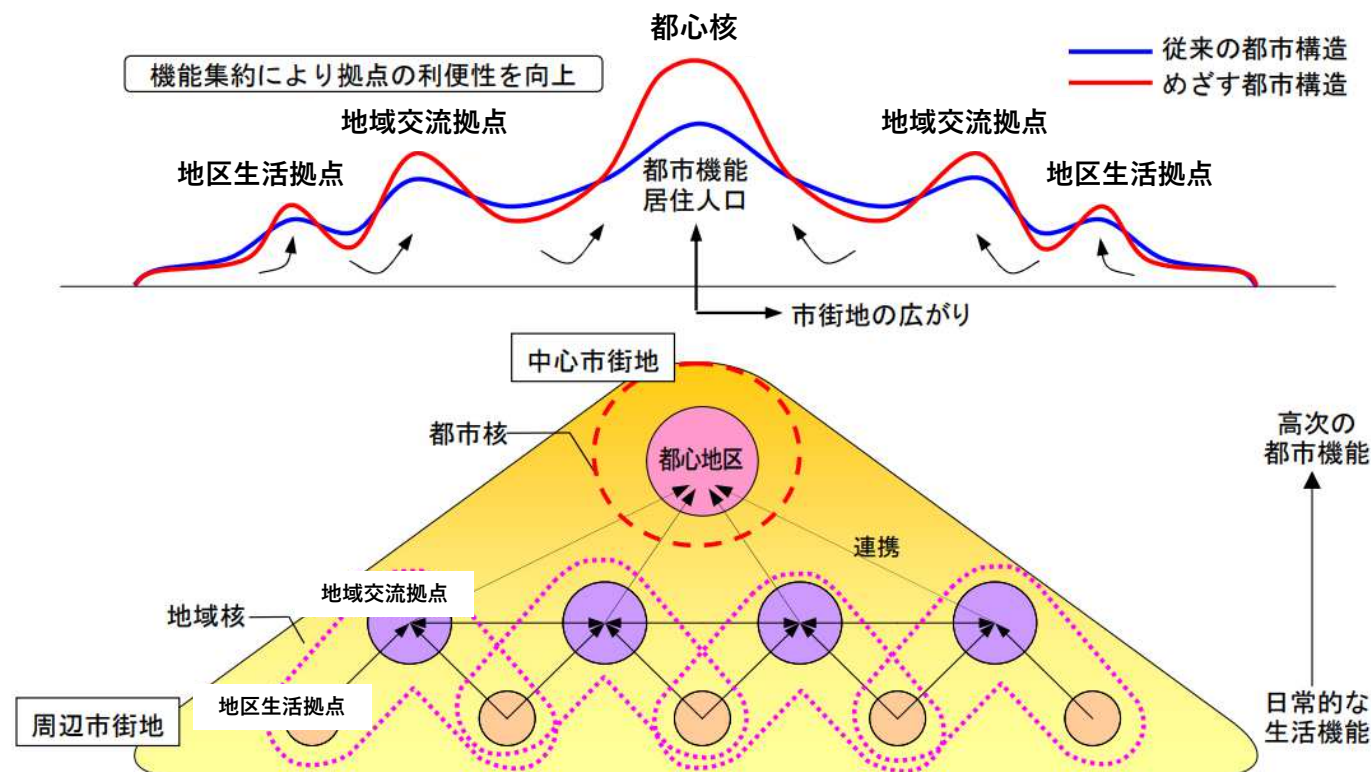
福山駅周辺を中心として中国・四国地方の拠点都市にふさわしい拠点性と求心力を備えた中心市街地と快適・利便性に優れた居住環境の整ったまちづくり

将来の都市構造（案） 地域の特性を生かした各地域の将来像

将来の都市構造については、6地域の特徴や都市機能の状況に応じて、日常的な生活機能が集積する「**地区生活拠点**」から、基礎的な都市機能が集積する「**地域交流拠点**」、より高次の都市機能の集積・充実を図る「**都心核**」まで、段階的な都市拠点の形成をめざします。

さらに、都市核とそれを取り巻く地域核が特色を持ちながら連携することにより、市域の一体的な発展をめざした都市づくりを進めます。

<都市構造のイメージ>



将来の都市構造（案） 地域の特徴を生かした各地域の将来像

■都市の核と拠点の形成

「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を実現するため、将来にわたって福山市中心部や旧合併町地域のにぎわいや活力を支え、多様な都市活動の中心となる場として「核」・「拠点」を位置づける。

(1) 都心核(高次都市機能)

備後圏域の発展を牽引し、さらに瀬戸内海中央部の発展に寄与するため、市民の日常生活を支える場としてのみならず、広域な公共交通、行政機能や医療・福祉・教育・文化・商業・業務・交流・サービス等の高次都市機能が集積した本市の中心であり、市内外の広域的な圏域を想定した「核」⇒ 福山駅周辺

(2) 地域交流拠点(基礎的都市機能)

行政機能や医療・福祉・商業等の生活に必要な都市機能が集積し、主要な鉄道や基幹バス等の公共交通を利用して都心核にアクセスできる「交流拠点」

- ① 東部交流拠点(東部支所・伊勢丘三丁目バス停周辺)
- ② 西部交流拠点(松永支所・松永駅周辺)
- ③ 南部交流拠点(沼隈支所・沼隈支所バス停周辺)
- ④ 北部交流拠点(北部支所・駅家駅周辺)
- ⑤ 北部交流拠点(新市支所・新市駅周辺)
- ⑥ 北東交流拠点(神辺支所・神辺駅周辺)

(3) 地区生活拠点(日常生活機能)

日常的な生活サービス機能(行政機能・地域の商業・業務・サービス等)を有し、鉄道駅や基幹バス等の公共交通機関が周辺にある日常生活を支える「生活拠点」

- | | |
|---------------------|------------------------|
| ① 赤坂生活拠点(赤坂駅周辺) | ⑧ 内海生活拠点(内海支所周辺) |
| ② 曙生活拠点(曙町五丁目バス停周辺) | ⑨ 水呑生活拠点(水呑三新田周辺) |
| ③ 山手生活拠点(ハローズ山手店周辺) | ⑩ 加茂生活拠点(加茂支所周辺) |
| ④ 東福山生活拠点(東福山駅周辺) | ⑪ 芦田生活拠点(芦田支所周辺) |
| ⑤ 大門生活拠点(大門駅周辺) | ⑫ 御幸北生活拠点(中国中央病院バス停周辺) |
| ⑥ 広尾生活拠点(広尾バス停周辺) | ⑬ 御幸南生活拠点(森脇バス停周辺) |
| ⑦ 鞆生活拠点(鞆支所周辺) | ⑭ 道上生活拠点(フジグラン前バス停周辺) |
| | ⑮ 湯野生活拠点(湯野駅周辺) |

■都市軸の形成

○中国・四国地方の拠点都市としての拠点性と求心力を高めるとともに、備後圏域の玄関口として、核とそれぞれの拠点が効果的に連携し、市域の一体的発展が図られるよう、都市軸を形成する。

(1) 広域連携軸

市域を東西に横断する軸は、国土形成を図る広域連携軸の一部を形成

【道路】山陽自動車道・国道2号(福山道路)

【鉄道】山陽新幹線・山陽本線

(2) 地域連携軸

都心核・地域交流拠点や近隣都市を結ぶ東西・南北方向の地域連携軸を形成

【道路】放射・環状型幹線道路網

(福山西環状線・福山沼隈道路・国道486号・国道182号・国道313号・三吉大渡橋線)

(主)府中松永線・(主)鞆松永線・(主)福山沼隈線・(主)福山鞆線・(市)福山駅箕沖幹線

【鉄道】福塩線・井原鉄道 【バス】基幹バス路線

都市構造図

